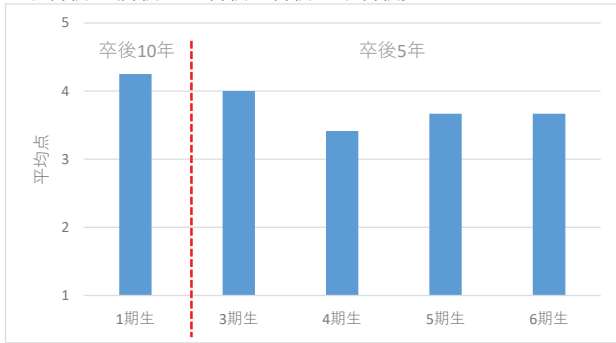


過去4年の経年比較（薬学部）

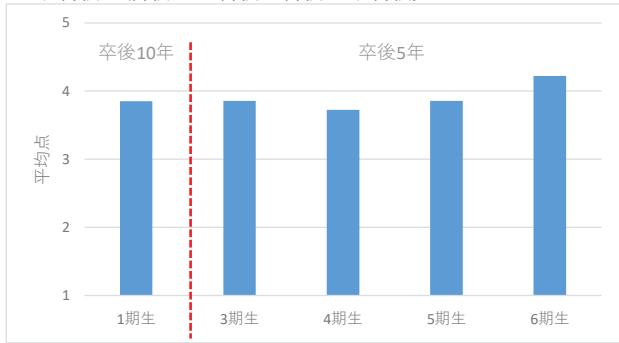
カリキュラムへの満足度

5段階評価（評価5：高評価 評価1：低評価）

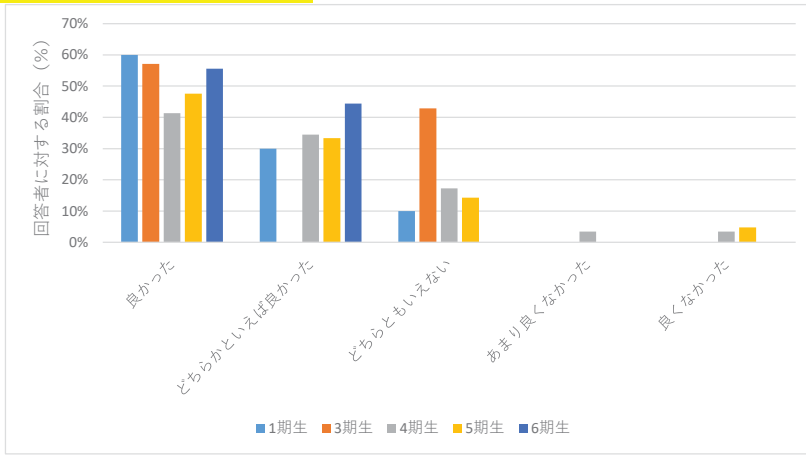


地域医療への貢献度

5段階評価（評価5：高評価 評価1：低評価）

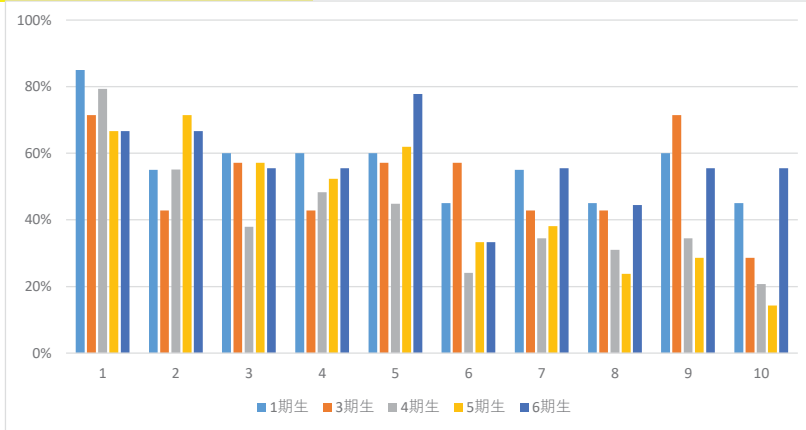


岩手医科大学を卒業して良かったか。



- ・カリキュラムへの満足度、地域医療への貢献度は概ね肯定的な評価で推移している。カリキュラムの評価は、若干の低下傾向が見られる。
- ・実施時期に寄らず、岩手医科大学を卒業したことを肯定的に受け止めている卒業生が多数派を占める。

学修成果の達成度に対する自己評価（達成したと自己評価した学生の割合）



・学修成果の達成度について、実施時期に寄らず「医療人としての倫理観」の達成率が最も高く、次いで「医薬品の適正な扱い」「チーム医療に資するコミュニケーション能力」「法規・制度・公衆衛生」が続く。

・卒業時期でのばらつきはあるが、「次世代を育成する意欲」「問題解決能力」「研究マインド」など、比較的到自己評価が低く推移している項目がある。

1. 医療人としての倫理観を備え、患者・生活者の視点を考慮し行動する。
2. 医薬品を理解して適正に取り扱う。
3. 医薬品および関連する法規・制度、公衆衛生等について、医療人のみならず一般人にも分かりやすく適切に説明する。
4. 適正な医療の提供および国民の健康維持・増進のサポートに貢献する。
5. チーム医療において、患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。
6. 医療施設や地域におけるチーム医療に積極的に参画し、相互の尊重のもとにファーマシューティカルケアを実践する能力を有する。
7. 薬学・医療の進歩と改善に資する研究を遂行する意欲とそれを実践するための基本的な知識・技能・態度を有する。
8. 医療における問題点を抽出し、科学的・論理的に問題解決を実践する意欲と態度を有する。
9. 薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯学習を実践していく意欲と態度を有する。
10. 次世代を担う医療人を育成する意欲と態度を有する。